

令和2年度・事業所による自己評価結果

事業所：ハッピーハート新潟東 事業：放課後等デイサービス 回答数：7

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	自分が工夫している点 自分の課題や改善する点	課題又は改善目標
環境・体制整備	1 活動空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせ、安全性が配慮された空間となっているか。	7				今後も気を緩めることなく、感染症予防対策の実施を継続していく。
	2 職員の配置数は適正であるか。	7				
	3 子どもや保護者への支援や対応に困った時、相談できる体制が整っているか。	7			・管理者をはじめ、職員間ですぐに話し合える環境です。 ・いつでも相談に応じてくれる体制にある。	どんな事でも“心の声”を出しやすい環境作りに努める。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、職員は参画しているか。	7				
	5 前年度の保護者向けアンケートや、面談による保護者の意向等を把握し業務改善にいかしているか。	7			・保護者の意向にできるだけ添えるよう努力している。	
	6 接遇（言葉使い・挨拶等）、身だしなみを意識して業務に就いているか。	7				
適切な支援の提供	7 職員の資質の向上を行うために、組織として研修の機会を確保しているが、意欲的に参加しているか。	7			・社員研修時、他施設の職員とアイデアやプランの相談が出来る。	
	8 面談等を適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画を作成していると思われるか。	7			・面談時に丁寧な聞き取りを行っていると思う。	
	9 個別支援計画を周知し、子どもと保護者のニーズや課題を理解しているか。	6	1		・支援の方向性に迷ったら個別支援計画を確認するようにしたい。	現状をしっかりと踏まえた計画書の作成を心掛け、ぶれない支援を提供できるように努める。
	10 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて計画を作成しているか。また、指導員は計画を意識し、支援や活動内容の意図を理解し支援しているか。	7			・集団活動では全員が参加できる活動となるように考え作成している。一人ひとりに合わせ、やり方を変えている。 ・集団活動の計画作成時はめあてを明記している。	今後も、楽しさと参加意欲が高まる活動内容を立案→実行していく
適切な支援の提供	11 事業所全体で、子どもへの共通理解を持って支援にあたるよう努めているか。	7			・情報や気付き等を職員間で共有し支援にあたっている。	
	12 活動プログラムはチームで立案を行っているか。	7				
	13 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			・1か月単位で見直しをしています。	
	14 支援を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）を意識して行っているか。	7				
	15 平日、長期休暇等に応じて、活動内容を設定し、支援しているか。	7				
適切な支援の提供	16 支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	6	1		・日により異なるため毎日確認できるようにしたい。	職員間での情報共有が図れる体制作りに努める。
	17 支援終了後には、職員間で話し合いをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1		・送迎に出ている職員とは話し合いができない。	
	18 支援内容や状況等を正しく記録に残し、支援の検証・改善につなげているか。	7				
関係機関や保護者との連携	19 相談支援事業所のモニタリングや、支援会議等に、子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか。	7				得た情報を全体で周知できるように努めていく。
	20 児童発達支援センターや発達障害者支援センター（JOIN）等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	5	2		・機会があれば研修を受けたい。	
関係機関や保護者との連携	21 以前まで利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、または学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		・学校とは情報共有できているが、就学前の施設とは必ずしも連携が取れていない。	適切な支援につながる情報共有と連携を心掛けていく。
	22 学校や障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	1	・未実施ではあるが、必要になった時はしっかり情報提供をしていきたい。	必要となった際には迅速に対応していく。
	23 保育園や学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7				
関係機関や保護者との連携	24 保育所や認定こども園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか。	2	1	4		交流が実現できるように今後も機会を探していく。
	25 日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				保護者様との信頼関係を大切にした対応を心掛ける。
	26 支援の内容、利用者負担等について、質問があった際、誠意ある対応、丁寧な説明を行っているか。	7				
27 個別支援計画は、支援の内容の説明を行い、保護者から同意を得ているか。	7					

保護者への説明責任等	28	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	7			保護者様との信頼関係を大切にした対応を心掛ける。	
	29	子どもや保護者からの相談・申入れがあった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	7			日頃から受け入れ体制を万全に整備できるように努める。	
	30	定期的にお便り等を発行し、活動概要や行事予定等を子どもや保護者に対して発信しているか。	7				
	31	個人情報に十分注意しているか。	7			信頼を損なわないように意識を持つ。	
	32	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために、伝わりやすいよう配慮をしているか。	7				
	33	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2	3	日常での挨拶や社会資源の協力を得て行っている避難訓練を継続すると共に、自治会と連携を図り、地域との方々と交流する機会を作れるよう努めていく。	
非常時等の対応	34	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。また、定期的に情報を家庭と共有し周知しているか。	7			・危険を伴う場合はフローチャートを作成し共有を図っている。	面談時には必ず保護者様に確認し、知り得た情報を確実に周知するように努めていく。
	35	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。また、定期的に情報を家庭と共有し周知しているか。	5	2			面談時には必ず保護者様に確認し、何に注意が必要かを細かく情報収集し、危険がないように心掛けていく。
	36	緊急時対応、防犯、感染症対応のマニュアルを策定し、職員に周知しているか。	7				
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7				
	38	虐待を防止するため、虐待チェックアンケートや、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			・虐待チェックで自身の行動を振り返っている。	チェックするだけで終わらずに職員全体で話し合い、虐待防止への意識を高めていく。
	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で個別支援計画に記載しているか。	5	2			必要時は、然るべき手順に沿って行う。
	40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	7				同じ事例を繰り返さない事と事前に回避する為の策を考えていけるように作成していく。

ハッピーハート新潟東

毎日、利用者一人ひとりに対して“適切な支援”と“実りのある支援”を提供できるように、実像をしっかりと踏まえた個別支援計画書を作成し、実施につなげています。

支援にあたる職員が一つのチームになれるように、日頃から些細な事や疑問に思った事等【声を出しやすい環境作り】に努め、課題の見直しや支援の改善策を“その時・その場”で検討する流れを作り、視点を統一するように努めています。

日々成長する利用児に対し、変化を把握しながらしっかりと受け止め、心身の安定と安心をセットにした“支援=温かいもの”と実感して頂けるように精進していきたいと思っています。